

広聴特別委員会記録

平成 3 0 年 1 1 月 9 日

【開催日】 平成30年11月9日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午前10時40分

【出席委員】

委員長	長谷川 知司	副委員長	宮本 政志
委員	伊 場 勇	委員	奥 良 秀
委員	杉 本 保 喜	委員	高 松 秀 樹
委員	中 岡 英 二	委員	中 村 博 行
委員	藤 岡 修 美	委員	松 尾 数 則
委員	吉 永 美 子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小 野 泰	副議長	矢 田 松 夫
----	-------	-----	---------

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

事務局長	中 村 聡	主査兼庶務調査係長	島 津 克 則
------	-------	-----------	---------

【付議事項】

- 1 市議会モニターの意見について
- 2 議会報告会について
- 3 その他

午前10時 開会

長谷川知司委員長 広聴特別委員会を開催します。今日の付議事項はお手元の資料にありますように市議会モニターの意見について、議会報告会について、その他です。最初に市議会モニターの意見についていきます。お手元の資料に市議会モニターからの意見及びその回答、考え方というのがあると思います。皆さん読んでないですか。（「メールで来ていた」と

呼ぶ者あり）読まれていますね。これについて意見がありますか。ありませんか。ないようでしたら、この案を採用するということできたいと思います。もし会議の途中で思い立って、またあれば言ってください。これを回答として考えたいと思います。次に議会報告会について、先日各班で反省会をされました。大変忙しい中、御苦労さまです。A班、B班それぞれ出ております。最初にA班からいきましょうか。

中村博行委員 A班では宿題は1件です。エアコン設置の財源の内訳をとということがありましたので、それは回答できませんでした。31日の須恵公民館のところですか。ほかに宿題はありません。今回の報告会の全般に対して、今後の報告会も含めた中で、数点の意見がありましたので報告します。会場について、自治会館等を利用することについての検討をしてみてもということが1点。12月議会の報告は1月か2月の初めになるかと思いますが、昼間の開催を考えるべきではないかということです。それから、議員の数が参加者より多いということで3班に戻してはどうか。最初に入られた方が、議員が多すぎて圧倒されるというようなことも言われていましたので、元の3班に戻してはどうかということです。テーブルの数と人数にある程度規定を設けてはどうか。例えば1テーブル5人までとか、参加者の人数とテーブルの数に規定を設けていたほうがやりやすいのではないかと思います。それから、テーブルごとの司会の役割の重要性をもう一回、認識する必要があるということです。それから研修というものもありました。ファシリテーターの研修もしてはどうかということです。

長谷川知司委員長 B班から何かありましたか。

吉永美子委員 今回、市民からいただいた中で宿題として持ち帰ったのがはっきりしているのは厚狭地区複合施設におきまして、リサイクルセンターの稼働時間です。このことについての御指摘がありまして、これは担当委員会で調査を行うということをはっきり言わせていただいています、この1点は宿題として持って帰っています。それとB班の議員の中で、反省会の中で出た意見として、うちの班の3か所あるうちの2か所の報告書が、質問があつて、それに回答という矢印という形になっていて、この報告書の作成方式というか、やり方を統一すべきだという意見が出ています。これは広聴できちんと決めていただいたほうがいいと思います。参加者が少ないときの議員の対応ということでA班の班長からのお話がありましたけれども、そういうときに10人いると威圧的な

るのではないかという話がありまして、ただ、やはり外に出てうろうろしていると、中でやっているのに何しているのともなりかねないので、その辺はきちんとルールを作って、威圧的にならないようにしないといけない。ただ、これについては、やはり参加者が少ないのであれば増やして、10人でもオッケーというふうに努力すべきであろうという、現実今少ないんですけど、少ないから議員を減らすという考え方よりも、どう増やすか、そこを検討しないといけない、協議をしないといけないだろうという前向きな話が出ました。それと議員の座り方ですけど、どうやって座ったらいいかということで、やはり知っている人がいたら、その隣に座ったりとかすると何か話がしづらいというか、こっちから聞かれれば答えなければいけない。何かバラバラになりかねないので、座席の座り方もきちんと決めたほうがいいという話が出ていました。

長谷川知司委員長 それぞれの班長から報告していただきましたが、特に皆さんからこれがあったということがあればお聞きしたい。なければ今言われたことで話を進めていきたいと思います。まず宿題についてはエアコン設置の財源内訳についてですね。これはまだ公表されていませんので、予算が出たときに答えるようになると思いますので、次の議会報告会に間に合うかどうかは分かりませんが、間に合わなければ、間に合わないということで、そういう回答をきちんとすればいいと思います。リサイクルセンターの稼働時間については民福で調べていただいていいですか。

吉永美子委員 はい。

長谷川知司委員長 お願いします。先ほどのエアコンについては総務になりますので、総務で確認してください。それから議員からあった今後の気付きですね。まず、会場の再考がありました。これについては前回、改選前ですけど、自治会館でやったことがございます。ただ、自治会館といっても単独の自治会館ではなくて、複数の自治会が利用されている自治会館ということで、駐車スペースもありますし、その自治会以外の方も参加しやすいような自治会館を利用させていただいたこともあります。中村自治会館や加藤自治会館ですかね。そういうところを使わせていただきました。これについてどうするかというのがあります。賛否はいろいろあるんですね。私が覚えている中では、一つの自治会館にしたら、それ以外の自治会の人には行きにくい。それから、駐車スペースがないという問題もありました。逆に、よりその地域の人が集まりやすいんじゃないかという声もあります。これについてどうしますか、意見があれば。

今日結論を出すというのではなくて、意見があればお聞きします。次回のときまで考えていただくということでいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次、昼間の開催についてはどうでしょうか。

中村博行委員　すべきでしょう。

長谷川知司委員長　寒い時期ですから、昼間やったこともありますし、確かにそのときは集まる人は多かったです。

松尾数則委員　昼間に集まる人が多かったですか。

長谷川知司委員長　はい。

松尾数則委員　少なかったというイメージがあるんですが。

長谷川知司委員長　加藤の自治会館で昼間したと思うんです。

松尾数則委員　あれは議員定数か何かの件ではなかったですか。

長谷川知司委員長　いいえ。

中村博行委員　埴生でやったときも、それなりに多かったという記憶があります。

長谷川知司委員長　年齢的には昼間空いている方ですから、若い方はそんなにいらっしゃらなかったですけど。

中村博行委員　今回を見ても分かるように、やはり高齢者の参加が多いということで、昼間を当然考えていかないといけないと思いますが。反面、若い人を取り込むということを念頭に置けば、全部を昼間ではなくて、地域のこと考えた上で、夜昼バランスよくやられたらと思います。

長谷川知司委員長　これについても結論は次回の打合せをするときに考えて、今日は意見を聞くということでいきましょう。

藤岡修美委員　昼間の開催に人が多いというのは、これは平日ですか。それとも土日やられたんですか。

長谷川知司委員長 私の記憶では平日が多かったです。市民館で土曜日の昼間したことがあります。そのときは本当に少なかったです。二人か三人だったです。

高松秀樹委員 過去のデータを全部出してもらいやすいと思います。

長谷川知司委員長 はい。次に議員の数が多い、3班にしてはどうかという意見がありました。逆に、今の状態で市民を増やす方法を検討すべきということもありました。皆さん意見はバラバラだと思いますが、これも検討の余地はあるということですか。それからテーブルの人数、大体一つのテーブルに5人ぐらいの市民で対応したらどうかということですね。今回、市民の参加が最大でも9人だったです。少なかったのは3名だったと思います。それから考えると、5名を一つのテーブルにすれば、10名以内であれば二つぐらいで、3班に分けたとしても対応はできるということだと思います。逆に、二十何名来られたら対応できないと思います。これも次回にあるということで検討しててください。それからファシリテーターです。これは皆さん経験することになると思いますので、ファシリテーターについてきちんと研修したほうがいいんじゃないかということがあったんですが、これについてはどうでしょう。広聴に限らず、今後、様々な場面で必要だと思います。これも事務局と話してみましよう。また皆さんに御報告します。それから報告書の作成様式の統一。確かにそうですね。皆さんのお手元にありますように、質疑が出て、それについて回答すべきことは矢印でやっているところもありますし、回答はないというところもあります。前回決めていたですかね。たしか、回答書くなら矢印ということであったと思うんですが、統一しましょうね。意見を書くだけというのも一つあるし、矢印をして回答を書くということもあります。どういうふうにするか意見があれば。これもひな形なり、案を作って次回のときに皆さんに提案して、それをたたき台に検討するということですか。A班、B班というのも紛らわしいというのもありますし、班自体がA班、B班なのに、その中の島がA班、B班というのはちょっと。それからまとめにしても、委員会ごとに、Aグループが委員会ごとにそれぞれまとめている。Bグループも委員会ごとだということもありますし、ちょっとこれ、ひな形を作って、たたき台で、また検討してください。議員の座る位置もありましたが、これも次回どうしたらいいかということで行きましょう。一番の課題は参加する市民が少ない。これをどうするかというのを皆さんの意見

があれば聞きたい。要するに議員が多いというのは、市民が少ないのに対して議員が多いというのであって、市民が多ければそうでもないんですね。二十何人集まったときは大変だったと思います。市民に集まっていただくとしたら、どのようにして、どうするかという意見があれば。

藤岡修美委員 これは実際に市民の皆さんからの意見で、自治会の回覧を議員が直接自治会長に頼みに行ったらどうかというのがあったんですけど、自治連さんとの兼ね合いもあるんですけど、これは難しいんですか。

長谷川知司委員長 前回、自治会長の方がいらっしゃったときには、その自治会長さんは、自分のところに持って来たら、自分は配るよと、班回覧で入れて、回してもらおうということを言われていました。それはその自治会長さんの判断でされると思います。ですから連合会という形でいくと、連合会からは無理だということで返事をいただいていますので、個別に議員がそれをしていくというのも一つの方法かもしれません。

吉永美子委員 ちなみに先ほど委員長が少ないところは3人と言われましたけれど、4人です。こっちも必死ですから。私が今回2回目やりましたけれど、埴生公民館でしかできていませんが、前も申し上げたと思いますけれど、その会場でいつやると分かっている前に、その会場で何かしらの会議がないですかとお聞きしまして、12月に山陽オート場を使って健康マラソンがあります。その何か委員会というか、協議をされるときがあったので、そのときにチラシをお持ちしまして、そこでお話をさせていただき、そしてまた、公民館長の好意で余った分を入り口のところに箱に入れて、御自由にお持ちくださいというふうに協力をしていただいていた。大変有り難いなと思ったんです。私としては、極力会場は早いうちから分かっているんで、その前で、何かしらがあるときをつかんで、それぞれの議員が、簡単にでもですけど、チラシをお配りして、是非御参加くださいという呼び掛けを継続的にやっていくことの必要性を感じているんですがいかがですか。

長谷川知司委員長 言われたことは大事なことだと思います。議員ができることはするということですね。具体的に言われましたので、それはやらないといけないと思いますし、個別に自分の自治会の自治会長さん、あるいは近辺の自治会長さんをお願いに行くというのもされていらっしゃる方もいらっしゃると思いますので。

高松秀樹委員 自治会便ですが、個別でやれば受けてくれる自治会長もいます。そうなるもってっていくところももっていかないところができますよね。議会として動く場合に、うちはもってきたけど、うちはもってこなかったというのは何となくよくない雰囲気はしますよね。そこが難しいんじゃないですか。これは自治会連合会の配布とは関係ないので、いけるとは思うけど、そういう懸念が残るもっています。

藤岡修美委員 高松委員の意見は分かるんですけど、実際に現地で「何でお前から自治会長のところに配らんのか」と言われたときに、努力が足りないんじゃないかというふうな形で言われたら、ちょっとつらいところもありまして、実際にその方は自治会長だったんですよ。自治連さんで1回回覧しましたよね。そのときは多かった。回覧できなくなって具体的に減ったと言われたから、公平性の問題はあるんでしょうけど、議員に求められる努力をという形で訴えられたら、なかなか厳しいものがあります。

中村博行委員 同じ方が前回も今回も来られておっしゃったわけですが、前回のは地元の議員さんがかなり誘われたということが大きかったので、今回9名でしたよね。その前が24名ぐらいだったと思うんですけど、大体あそこの会場が少ない会場なんですよね。今回言われたのが、前回二十何人来た、今回はこんなに少ない。少ないと言われたけど、大体あの会場は4人ぐらいなんですよ、何もしないと。9名というのはまずまず多いほうかなと感じたので、一概に自治会長に個別というのは、高松委員のおっしゃったこともありますけど、実際に私のところの地区の自治会連合会長が好意的に回覧を各自治会長にやってもらおうとやられたら、一人の自治会長が市民からひどく怒られたんですよ。こんなことで議会が自治会を使うなとね。その自治会長はびびってしまって、私のほうに言って来られたことがあります。だから非常に難しい問題だという認識はあります。

高松秀樹委員 僕は議会が自治会を使うのは何の問題もないもっています。公平性がいかなのかと。だから、一番良いのは自治連にお願いして、全部の自治会に配布される、又は回覧されるというのが一番良いですけど、ただ、一部になるとなかなか難しい。皆さん懇意な自治会長さんがいらっしゃるも思うんですけど、そこはいいんです。隣の自治会には回っていないよとなったときに説明が付かなくなるので、自治会便は賛成ですけど、その方法についてはよく考えたほうがいいのかと思います。

吉永美子委員　今思ったんですが、金融機関や商工会議所にチラシをお願いして、いかに周知してもらおうかということの努力をしていると思っているんです。商工センターで、もっともっとアピールすべきでしょと言われて、いや、今実はこうしていますと申し上げたときに、コンビニにも貼ってもらったらどうですかと言われて、そういう努力もしなければいけないなと思ったんですけど、例えば今回はエアコンのことがありましたよね。そうしたら、小学校や中学校のPTAの団体とか、項目に合わせて、日頃行う、レストランで言えばグランドメニューが決まっていて、それ以外に時期に合わせたことを、この団体に今回はチラシを持って行って声を掛けさせていただくかということ、少し加えていくというのはいかがでしょうか。内容に合わせて、日頃やるプラス少しでも知ってもらい、少しでも来ていただくために、そういう関係ありそうな団体のところをお願いをしていくというやり方はいかがですかね。

長谷川知司委員長　それも一つの方法としては良いと思います。ほかにはありませんか。

高松秀樹委員　集客というのはずっと落ち込んでいるんですけど、ポスターを貼ったり、ホームページに出したりという周知、認知と実際の参加とは別問題だと思っています。議会がこういうことをやっているという周知とか認知は必要なんですよね。それを有権者や市民が理解しているというのは必要。イコールそういう人たちが参加するという状況ではないというのは当たり前の話なので、どういうふうにして参加させるのかというのは、過去の議会にあったように僕は議員がしっかり動員、ちょっと来てくださいということで来ていただく数を、議員一人何名だと決める必要がある。当時決めたときは多かったんですよね。そういうやり方をして、一回来られれば、アンケートの結果を見ても分かるように、なかなか面白かったよねという人たちも多いので、それを実体験していただくという意味で、動員制を引くべきだと思います。

宮本政志副委員長　各議員が動員というのは私も賛成で、今年、四国の観音寺市議会さんが視察にいらっしゃったときに、観音寺市議会さんは一人5名だったですかね。各議員にノルマを課して、報告会にいらっしゃった方にどの議員さんから声が掛かりましたかというチェックまでするというのを聞いたんです。そこまでうちの議会が厳しくするというのは先々でいいと思うんですけど、各議員が声を掛けて、2名ないし3名必

ず報告会に来てもらうよう努力するというのは非常に賛成で、確かに賛否はあると思うんですよ。議員に近い方がいらっしゃるんでという意見も聞くんですけど、とにかく参加者を増やすことが優先なので、吉永委員が言われた方向性と高松委員が言われた方向性、二つやっていく時期だと思います。

長谷川知司委員長 ほかに意見はありませんか。これについては次回、報告会の打合せをするときに話したいと思いますが、今日は意見があれば皆さん出していただきたいと思います。なければアンケートの結果と自由記述欄にいきたいと思います。最初に議会報告会アンケート結果がありますね。これを見て分かるんですが、1番、議会報告会の開催をどのようにして知られましたかで、議員から誘われたというのも17名あるということですね。議会報告会何回目ですか。3回目以上がほとんどの25名。常連さんが多いんですね。交通手段については車の方が多いですが、近くの方で徒歩というのも若干います。報告会そのものは良くなかったというのはゼロです。どちらとも言えないというのも7名いらっしゃるので、この方たちは常連さんの声がこのようになっているのかもしれませんが。また参加したいという方がいらっしゃいますので、33名の方が参加したいということです。5番のカフェ方式の小グループによる話し合いについてどうだったか。良くなかったというのがゼロということです。どちらとも言えないという人を、どのように良かったに持っていくかが今後の課題だと思います。皆さんこのアンケートは大事な結果だと思います。自由記述欄にいきますが、読んでいただいて、気になるところがあれば言っていただきたいと思います。議会報告会についての7番に議員が多すぎるというのがあります。6番の昼間の開催。5番の市民を増やせということもあります。報告会の内容について、7番に報告の内容が分かりにくいというのがありますね。

吉永美子委員 これはうちの班で出たはずなんですけど、その中でいろいろお話を少ししたところで、ゆっくり、はっきり、分かりやすく言っていく。内容自体はそんなに、言葉とかがそこで出たお話をされておられますので、リーダーさんがですね。内容として、例えば議会用語がべらべら出てくるという内容ではないと思うんですよ。ですので、やはり報告者、リーダーはゆっくり、はっきりということで、言い方によって分かりにくいということがあるかも知れないよねという話は出たんですけど、だから内容がどうのというのは余り考えにくいんじゃないかなと思うんですが、いかがですかね。今後、今いろいろ広聴で議論しているじゃない

ですか。決め事をここではっきり決まったら、きちんと明文化して、ほかの議員さんにも配ってという形で、議論したことは残っているけど、形をきちんと残していくという、次の議会のためにも、そういうふうにしていったほうがいいなというふうにすごく思います。例えば周知の方法、こういうことをする。先ほど言われた議員が何人出すということがもし決定すれば、議員は最低何人出すように努力するとか、そういうのを作って、議員の皆さんにも配り、保管もするという形をしていったほうが、三歩行くんだけど、またちょっと一歩下がったりすることがないでしょう。そういうふうに思いました。

長谷川知司委員長 この10番に議会は決算が主であると、この方は9月議会に決算があるというのを御存じで決算を聞きに来たということだったんですけど、これは一人の方のそういう意見があったということでお願いします。裏に行って、報告会の進め方について。

奥良秀委員 ちょっと戻ってもらって、報告会のアンケート結果なんですけど、ここの右上に人数が41名とあるんですが、これは個々の人数ですか、延べ人数ですか。

長谷川知司委員長 延べ人数です。

奥良秀委員 先ほどから議論が出ている議員の動員をやった場合に延べにしないと、個々の市民の方が何人来られたというのは分からないですよ。同じ人が何回も何回も来てボリュームが膨らむという懸念もありますので、その辺はチェックされたほうがいいんじゃないかと思います。私の班でも重複されている方はいらっしゃいましたので、それを入れると、間違いなくこの人数は、延べは41ですけど、実際の人数は減っていると思いますので、その辺は徹底されたらいいと思います。

長谷川知司委員長 アンケートで何かあれば。

高松秀樹委員 4、5、6でどちらとも言えないとか、どちらでもないというのがあるじゃないですか。これに理由を書くところがあったんですか。ここを知りたいですよ。協議して、次のアンケートのときに書ける欄を作っておいたほうがいいのかもしれないですね。

中村博行委員 多分、どちらでもないに書かれた方と思うんですが、ほかの議

員さんも同じ感想を持たれていたんですけど、結局以前の全体の中で、ぽつんと隅で、その内容を聞いておきたいだけという思いの人がおってんですよ。それがテーブルの中に入れられたら無理やり発言しないといけないような雰囲気になるので、次からは来たくないねというような方も複数人いらっしやったということで、案外現実的だなと感じました。

高松秀樹委員 今の話は現実的にはあるのかなという気がしますが、そこは班のリーダーがしっかり、うまいこと運営していくことが必要なのかもしれないですね。つまり、しゃべりたくない人に次から次に「どうですか、どうですか」というのではなくて、何となくその雰囲気を理解してあげて、もちろん最初は聞く必要はありますよね。こういう感じかなと思ったら、次からはうまいこと仕切り直すというスキルが必要になってくると思いますよ。

奥良秀委員 私も今回初めてリーダーをさせてもらいましたが、本当に進め方が一番重要だと思います。司会よりもそちらのほうが役割は大きいかなと思います。だから、ある程度のマニュアル的なものは必要かなと思います。ある程度の采配、もうこの辺で切れるように、しゃべろうと思われる方がいても次に進めていけるような、リーダーシップが取れるような練習をしておかないと難しいなと思いました。座る配置も議員から見てパワーポイントが背中にあるように、市民が座る位置まで全部考えていかないと、例えば一つの班がこっちも話して、こっちも話してという状況も経験しましたので、全てマニュアル化してやられたほうがいいと思います。

長谷川知司委員長 アンケートについてはいいですか。では自由記述欄の裏に戻って3番です。今までの議会報告会の方法と比べて一長一短あるというのが、先ほど中村委員も言われたような形での市民の声かもしれませんね。要望、その他について、1番がさっき言った自治会のビラなど書いてあります。皆さん読まれていますので、これを読んで次回の報告会をどうするかを12月議会の間に話すと思いますので、そのときに皆さん方の意見を聞いて固めていきたいと思います。議会報告会は本会議が終わるまでに日程を決めてしまいますので、それから後に地域の会合が入った場合にダブってしまうことがありますので、これはしょうがないかなと思います。今回もきらら交流館であったときに本山の会議とダブってしまいました。その他ないですか。（「なし」と呼ぶ者あり）ないので、これで広聴特別委員会を終わります。

午前 1 0 時 4 0 分 散会

平成 3 0 年 1 1 月 9 日

広聴特別委員会委員長 長谷川知司